

日時：2004 年 2 月 1 日 10：30～15：45

場所：愛知県勤労会館

参加者：長谷川会長、辻理事長、河西、武笠、桜井、杉浦、大能、市村、星島、
青木、濱田、浅野

1、開会の言葉 辻理事長

2、顧問挨拶 竹山 裕 参議院議員の新年挨拶・・・河西理事が代読

3、理事会成立宣言・・・長谷川会長

出席者 12 名 + 委任状 22 名 で成立（理事合計 37 名中）

4、議長に市村理事、書記に浅野理事が選出された。

5、議事

5. 1 報告事項

5. 1. 1 2003 年度一般活動報告

各理事より昨年の活動報告があった。

5. 1. 2 2003 年度会計決算報告（別紙参照）・・・長谷川会長

5. 1. 3 2003 年度会計監査報告

会計監査の結果、問題ないことが報告された。・・・浅野監事

5. 2 審議事項

5. 2. 1 JRGA の活性化について・・・杉浦、市村、濱田 理事

会員数が増加しない現状のままでは、協会の衰退が懸念されるため、協会の活性化を行い、新規会員の獲得をしていきたい。そのために今後何をすべきかの議論が活発に行なわれた。

主としては、会費の低価格化や会報の充実化の課題が考えられる。

- ・ 会費を安くして会員を増やす事ができないか。
- ・ 会費を安くする方策としては、会報のコスト削減が効果があるため、会報の紙質や体裁を安価にする、会報の発行回数を減らす等のやり方かどうか。
- ・ 会報の必要有無で 2 種類の会費設定をしてみてもどうか。

等の意見が出たが、

大変難しい課題であるため、即断することはできないということで、今後も継続して議論すべきということになった。

尚、下記内容については実施することに決定した。

- ◆理事の継続した議論の場として、理事間でメーリングリストを開設することになった。このメーリングリストは市村理事が発起人となり運用を開始する。
- ◆会報は本年も3回の発行を目指し、また内容の充実をはかるために、担当制を採用する。第1回は玄岳（市村）、第2回は上里（岩田）、第3回は近畿（長谷川）が編集する。
- ◆会報の名簿欄については、郵便番号の記載を廃止する。また、希望者については、個人メールアドレスの記載をする。
- ◆事務局の負担低減のため、事務局業務の細分化を実施し、担当を分担することした。（例：会計、名簿作成、会費督促、会報送付事務等）
詳細の分担については、メーリングリストを活用しながら、今後決めていくことになった。

- 5. 2. 2 グランドチャンピオンシップの発表・・・浅野理事
サーマル部門は菅原 壽氏、スロープ部門は桜井裕人氏がチャンピオンに決定したことが報告された。（別紙参照）
ラジ技誌にも、同様内容を公表する。但し、JRGA ポイント獲得制度として会員・非会員の区別をせずに公表する。
- 5. 2. 3 理事会開催日変更について・・・小阪井理事（当日は欠席）
開催日を変更するとなると、1月の最終週の日曜日が候補ということになり、議論したが、現在の理事で参加不可能の方が多かったため、本件は現状のままとすることになった。～理事会は従来通り2月の第1週の日曜日開催
- 5. 2. 4 2004年度会計予算案審議・・・長谷川会長
審議した結果、承認された。（別紙参照）
- 5. 2. 5 2004年度の競技会スケジュール調整が行われた。（別紙参照）・・・全員

以上